

RID2660 地区国際奉仕委員会 NEWS LETTER

2021-22 年度 第 1 号



SERVE TO CHANGE LIVES



クラブ国際奉仕委員長会議

2021 年 10 月 23 日(土)に
皆様のお陰をもちまして、
無事に終了いたしました。
当日の記録動画は地区ウェブサイト
「地区内行事記録動画」へ掲載して
おります。是非ご視聴ください。

2022 年国際大会 (ヒューストン)

●国際大会●

2022 年 6 月 4 日～8 日

●大阪ナイト●

2022 年 6 月 4 日 夕刻予定

皆様のご登録・ご参加を
お待ちしております。
大会の詳細については
My Rotary に随時掲載されますので、
ご確認ください。

<https://convention.rotary.org/ja>

ご挨拶

2021-22 年度 地区国際奉仕委員会 委員長 北井 雄大

平素は地区国際奉仕委員会の活動にご理解を賜り誠に有難う
ございます。

クラブの皆様をお願いしておりました、国際奉仕活動に関するアン
ケートにご協力いただき、誠に有難うございました。

アンケート結果を精査しましたところ、当地区内のほとんどのクラブ
の国際奉仕活動がコロナ禍のために停滞していることが分かりまし
た。

今、コロナ禍だからこそ、世界の貧困地域ではより一層の支援が
必要です。我々の都合で支援を止めてはいけなないと考えておりま
す。そこで、コロナ禍でも、国内にしながら国際奉仕活動を上手に
行っているクラブを、ニュースレターを通じて地区内のクラブにご紹介
し、安心安全を前提としたみなさまの国際奉仕活動のヒントになる
ような事例をご紹介します。

今回の第 1 号では、大阪西南ロータリークラブ（以下 RC）国
際奉仕委員会 森 隼人 様から「コロナ禍でも活動できている国際
奉仕活動」というテーマで地区国際奉仕委員 井上 健一がお話し
をお伺いしました。

NEWS LETTER 2021-22 年度 第 1 号



〔事業内容・目的〕

コロナ禍で海外での奉仕活動が出来ない中、国内で学ぶ多数の外国人留学生に対してBJT（ビジネス日本語能力テスト）受験を促進することにより教育・就労支援に取り組み、留学生の情報収集能力、日本語能力の向上を通して、日本企業、外国人留学生双方の様々な課題の解決を目指します。

大阪西南ロータリークラブ

<例会場>

リーガロイヤルホテル

〒530-0005

大阪市北区中之島 5-3-68

TEL (06) 6448-1121 (代表)

ビジターフィー 4,800 円

<例会日時>

毎週 水曜日 12:30~13:30

会員数 100 名 (2021 年 9 月末現在)

〔なぜその奉仕活動を行おうと思ったのか〕

大阪西南 RC では色々な国際奉仕活動をしています。現在コロナ禍で海外での奉仕活動が制限される中、アルバイトなどが出来ず生活に困窮している留学生に何か援助が出来ないかとメンバーと話し合い始めた事業です。外国人側の悩みで、まず圧倒的に不足しているのが「情報」です。日本語での情報収集は難しく、どれだけ語学が堪能でも最初は母国語で情報収集をします。日本人が仮にアメリカに行っても英語をどれだけ堪能に話せても、必要な情報はやはり日本語で調べたいという気持ちと同じです。日本語での情報を調べようと思うと情報がたくさんありすぎて、的確な情報はまず得られません。留学生が必要とする情報の多くは日本での就職や、特に生活困窮に関わるコロナの情報などです。そこで、我々は情報を多言語で提供することでそれを何とか解決出来ないかと考えこのプロジェクトをスタートしました。

〔困っている外国人は何処から見つける〕

ウェブサイトの WA.SA.Bi.は外国人支援に関する草の根的存在で、現在登録されている人数は 7 千数百名です。過去支援を受けた人が後輩たちに口コミでどんどん広げています。

WA.SA.Bi.ウェブサイト : <https://www.iwasabi.com>



【BJT（ビジネス日本語能力テスト）受験者の選考基準は？】

今回のプロジェクトへの申込み者は134名で、最終の参加者は70名となりました。選考のプロセスは、まず、ウェブサイトWA.SA.Bi.に登録されている約7,400名の留学生に多言語で情報を流して登録希望者を募りました。その結果134名の応募があり、全員に連絡をとりヒアリングしました。現在の困窮状況や、このテストを受ける意図、このテストを受けて今後どうしたいか、日本以外の学歴や今後就職をする際の在留資格などを聞いた上で、更には、どうして留学したのか、日本で働きたい理由、具体的にやりたい仕事や将来の夢も聞きました。なんとなく日本で働きたいというレベルの人は残念ながら外し、本当に日本で活躍したいという熱意のある人たちを中心に選考しました。最終70名に絞っていく中では、選考ラインギリギリの方もいたので、その方には8言語に対応できるメンバーが母国語でヒアリングしました。日本語では、「私はやりたいです」と言うのですが、やはり母国語で話していると本音が聞けます。そういった微妙な部分は応募者を知る各国のスタッフや、お付き合いのある大学の先生方にもヒアリングをしっかりと行い、最終的にBJTを受けていただく方を決めました。

【苦労した事】

多くの方にヒアリングし選考する中で、全員を選べないことに一番心が痛みました。点数の低い人が決して意識が低いという訳では無いので、その様な状況の中で選ぶことに大変苦労しました。また、高い点数の人たちをロータリーに誘いたいという思いも強く持ちました。

【活動前と活動後の留学生と会員の変化】

70名から15名を選抜し例会で卓話発表してもらいましたが、就職の事も含め積極的に大阪西南RCの会員と熱心に話をしていました。会員からは「留学生は本当に自分の国を代表して来ているという覚悟が卓話を聞いていて分かりました」、「日本人が英語圏の国に行つてそこまで自分の国に誇りを持っているのかな」「日本人学生がアメリカなど海外に行つて自分の国はこんなに素晴らしいのだとってくれたら嬉しいです」という様な感想が出ました。

また、彼らが「このような卓話をする機会を与えて頂き有り難いです」と言っていたのが印象に残っています。1人あたり7,000円の援助ですが、ものすごく感謝していますと言われ大変感動しました。このプロジェクトを行なつて良かったと思います。



〔奉仕して良かったと思えたこと〕

BJT を受ける留学生の負担を軽くしたいという今回のプロジェクトを通じ、優秀な留学生と出会ったことで、

- 1) 大阪西南 RC の会員の皆さんにその存在を知ってもらえた事
- 2) 上場している有名企業しか知らない留学生にそれ以外にも色々な企業があることを知ってもらえた事
- 3) 例会を通じて事業に成功している経営者と触れ合えるまたとない機会が作れた事

は大変良かったと思います。

〔地区補助金活用について〕

今回、地区補助金は時間的な問題等で使えなかったもので、今後地区補助金の活用も踏まえ事業を継続していきたいと
思います。地区補助金を活用するためには、奉仕活動を発案する年度とそれを実行する年度の会長長幹事等関係者が
連携して、計画的に進める必要があると考えます。



取材：地区国際奉仕委員会 委員 井上 健一

< 発刊 >

2021-22 年度

RID2660 地区国際奉仕委員会

委員長	北井 雄大	大阪平野
副委員長	津田 和義	大阪北梅田
副委員長	徳上 洋之	大阪リバーサイド
委員	津村 昌明	茨木西
委員	西本 恵美子	高槻
委員	中根 三恵子	大阪ユニバーサルシティ
委員	乾 禎則	池田くれは
委員	坂本 一成	吹田西
委員	井上 健一	高槻東
委員	尾島 康弘	大阪堂島
委員	上田 勝嗣	大阪西南
委員	木村 奈奈	大阪水都
委員	山本 章弘	大阪

■ 委員会 毎月第1木曜日(原則) ガバナー事務所にて開催 ■

News Letter に関する お問い合わせ

国際ロータリー第 2660 地区 ガバナー事務所
〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館 6F
TEL : 06-6264-2660
E-mail : kamo@ri2660.gr.jp

NEWS LETTER 2021-22 年度 第 1 号